

■10月の進路行事について

2学期が始まりちょうど1か月が経過しました。26日には3年生の大学入試共通テストの志願票の発送が完了しました。正式に受理されると10月25日までに確認はがきが送付され、12月14日までに受験票が届きます（例年通りの会場での受験ができるといいですね）。大学入試の手続きの第一歩が始まりました。

また、10月になると様々な大学の学校推薦型入試や総合型選抜入試が始まります。推薦入試や総合型選抜入試では、合否の判定に小論文や面接が課されることが多く、本校では該当学年の先生方だけでなく、学校全体で添削指導や面接練習に対応しています。先陣をきって受験に挑む3年生の皆さんには、雰囲気にもまれることなく勝負してきてほしいと願っています。

10月は勉強に十分な時間がかけられる時期であると同時に、進路についても考える時間をとってほしいと考えます。1・2年生も様々な進路行事が企画されていますので、積極的に活用して自分の目標を見定めるきっかけとしてください。

●現役医師による医学科セミナー（Career+）

10月26日（木）放課後に群馬大学医学部の医師で、本校OGの松村郁子先生をお招きして医学科セミナー講座を開講します。医療に興味をもち、将来の目標として医学部を考えている1・2年生を対象にした講座です。詳しい要項は教室に掲示しますので、受講希望者はgoogleformにて申込みを行ってください（上のQRコードから手続きができます）。3年生も推薦入試対策として情報収集したい場合は参加可能です。



●スペシャリストガイダンス（2学年）

10月13日には2年生を対象にしたスペシャリストガイダンスが行われます。各分野の最先端の研究を行っている大学の先生を招き、最新のトピックスや研究室で行っている研究等について講義をしていただきます。11の分野に分かれて設定された講座のなかから希望する

2講座を選択して受講します。大学での学びや最先端の研究に触れる、またとない機会です。

●企業研究所・大学訪問（1学年）

1年生では11月に首都圏方面の企業・大学を訪問し、見学する進路行事が3年ぶりにリニューアル復活しました。コロナの影響によりなかなか企業の受け入れ先が見つからず、学年団の先生方が手分けして開拓してくれました。そして今回の目玉はバスでの移動ではなく東京での現地集合現地解散方式。列車の時刻や乗り換えなども自分たちで調べて会場に向かう、ちょっとした大冒険ですね。本校OGの先輩が案内してくれる大学もあります。

■大学入試基礎用語（第3回）「12月入試って？」

推薦や総合型以外の大学入試というと、1月の共通テストから、私大受験、国公立大受験、と年明けから本格的に入試が始まるイメージですが、12月にも入試があるということを皆さん知っていますか？12月入試（年内入試）と言われるこの入試は、私立大学が早期に入試を行い合格者を確保するもので実施校は年々増加しています。「12月にもう入試？」と感じる人もいるかもしれませんが、まだ志望校が明確でないため手を出さない受験生もいるのか競争率もそれほど高くないところもあります（高崎や前橋で受けられるものもあります）。年明けに受験する大学との併願が可能なものや、入試の成績により授業料免除や奨学金が支給されるものもありそれなりにメリットもあります。普段から緊張しがちな人は共通テスト前の「本番慣れ」のために使うこともできますし（私大には失礼な表現ですが、模試代わりにどうぞ遠慮なく使ってください、と堂々とってくる私大もあります）、そこで合格がとれば共通テスト前のプレッシャーは相当軽くなると思います。私立大の受験校を探す際に、年内入試を実施している大学を候補に挙げておくのも戦略の1つですね。

■新課程の大学入試情報について

主に1・2年生の生徒および保護者を対象とした新課程の共通テスト情報を裏面に掲載しました。